



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場会社名 第一工業製薬株式会社
コード番号 4461 URL <http://www.dks-web.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大柳 雅利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 浦山 勇

TEL 075-323-5955

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	39,730	△8.4	1,527	△8.6	1,303	△5.3	607	—
24年3月期第3四半期	43,390	13.4	1,670	△22.0	1,376	△28.3	0	△100.0

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 738百万円 (△8.7%) 24年3月期第3四半期 808百万円 (46.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	14.24	—
24年3月期第3四半期	0.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
25年3月期第3四半期	51,713		17,350		31.9		386.13	
24年3月期	51,357		16,949		31.4		377.77	

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 16,477百万円 24年3月期 16,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	△4.0	2,300	13.1	2,000	14.8	900	444.7	21.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料P. 4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	43,421,609 株	24年3月期	43,421,609 株
25年3月期3Q	748,646 株	24年3月期	748,646 株
25年3月期3Q	42,672,963 株	24年3月期3Q	42,673,427 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（4月～12月）のわが国経済は、個人消費や震災復興需要が内需を引き続き下支えしてきましたが、世界景気の減速等を背景として景気は弱めの動きとなっております。為替や株価に好転の兆しも出てきましたものの、引き続き予断を許さない状況が続いております。

化学業界におきましても、原油・ナフサをはじめとする資源価格の動向など依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、この厳しい事業環境を乗り切るため、コア製品事業の拡販に努めますとともに、将来の成長分野である「環境」、「エネルギー」、「電子材料」、「生活資材」などの分野を中心に新規市場の開拓や新素材の開発に取り組み、原材料の安定的な確保や適正な採算確保、新コスト削減計画による総経費の削減などに取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績といたしましては、長引く欧州景気の低迷や中国などの景気減速感が国内外に強まるなど需要が低迷し、売上高は、ゴム・プラスチック用途などの『界面活性剤』は好調に推移しましたが、地球環境保護の動きに対応した電子部品材料用途の導電性ペーストなどの『電子デバイス材料』が顕著に落ち込みました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は397億30百万円（前年同四半期比8.4%減）となりました。

損益面につきましては、営業経費の削減効果はありますが、売上高の減少に加え価格競争の激化や第3四半期に入り原油・ナフサ価格が高水準で推移するなど原材料費の高騰が利益を圧迫し、営業利益は15億27百万円（前年同四半期比8.6%減）となりました。また、円安による為替差益の計上などにより、経常利益は13億3百万円（前年同四半期比5.3%減）となりました。これに固定資産の減損損失や税金費用を差し引きしました結果、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は6億7百万円（前年同四半期純利益は0.2百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<界面活性剤>

界面活性剤の売上高は、総じて好調に推移しました。

国内では、トイレタリー用途の活性剤はやや低迷しましたが、ゴム・プラスチック用途の活性剤は大幅に伸長し、金属用途の活性剤は堅調に推移しました。

海外では、ゴム・プラスチック用途の活性剤は堅調に推移しましたが、色材用途や繊維用途の活性剤はやや低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は149億14百万円（前年同四半期比4.3%増）となりました。

営業利益は、売上高の増加や営業経費の削減が功を奏し8億1百万円（前年同四半期比57.2%増）となりました。

<アメニティ材料>

アメニティ材料の売上高は、総じてやや低迷しました。

国内では、セルロース系高分子材料は飼料用途が伸長し、食品用途は堅調に推移しました。シヨ糖脂肪酸エステルは香粧品用途や食品用途が堅調に推移しました。

海外では、セルロース系高分子材料は医薬品用途がやや低迷し、食品用途はやや低調に推移しました。シヨ糖脂肪酸エステルは食品用途が好調に推移しましたが、香粧品用途は低迷しました。

その結果、当事業の売上高は52億30百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。

営業利益は、コストダウンや高付加価値品の開発が実り2億54百万円（前年同四半期比19.5%増）となりました。

<ウレタン材料>

ウレタン材料の売上高は、総じてやや低迷しました。

東日本大震災による需要の落ち込みはほぼ回復し、ゴム・プラスチック用途や建築用材料は好調に推移し、重防食塗料用途も順調に推移しました。岩盤固結剤は公共工事の減少により大きく落ち込みました。

その結果、当事業の売上高は62億87百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。

営業利益は、売上高の減少に加え原材料価格の高騰が利益を圧迫し1億58百万円（前年同四半期比37.2%減）となりました。

<機能材料>

機能材料の売上高は、総じてやや低迷しました。

国内では、臭素系の難燃剤はデジタル家電用途がやや低迷しましたが、光硬化樹脂用材料は電子材料用途が堅調に推移しました。水系ウレタン樹脂はフィルム用途や塗料用途が堅調に推移しましたが、鋼板向け用途は低調に推移しました。

海外では、光硬化樹脂用材料は堅調に推移し、水系ウレタン樹脂も伸長しましたが、台湾の主力子会社のリン系の難燃剤は電気・電子材料用途が顕著に落ち込みました。

その結果、当事業の売上高は74億95百万円（前年同四半期比3.9%減）となりました。

営業利益は、営業経費の削減に努めましたが、売上高の減少に加え価格競争の激化が利益を圧迫し2億44百万円（前年同四半期比50.0%減）となりました。

<電子デバイス材料>

電子デバイス材料の売上高は、総じて顕著に落ち込みました。

地球環境保護の動きに対応した電子材料用途の導電性ペーストは顕著に落ち込みました。射出成型用ペレットや機能性無機材料はやや低迷しました。

その結果、当事業の売上高は58億2百万円（前年同四半期比38.0%減）となりました。

営業利益は、営業経費の削減に努めましたが、売上高の顕著な落ち込みが響き68百万円（前年同四半期比66.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて3億56百万円増加し、517億13百万円となりました。その主な要因は、商品及び製品などのたな卸資産の合計が6億77百万円、建物及び構築物などの有形固定資産の合計が5億27百万円減少しましたが、現金及び預金が9億36百万円、受取手形及び売掛金が8億45百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比べて44百万円減少し、343億63百万円となりました。その主な要因は、リース債務（流動負債）が7億3百万円、長期借入金が15億77百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が6億21百万円、短期借入金が2億62百万円、賞与引当金が2億13百万円、リース債務（固定負債）が9億57百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べて4億円増加し、173億50百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払2億98百万円や当四半期純利益6億7百万円の計上などにより利益剰余金が3億2百万円増加したことなどによるものです。

また、自己資本比率は、前連結会計年度末と比べて0.5ポイント改善し31.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年10月29日付で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,470,831	6,407,139
受取手形及び売掛金	12,843,524	13,689,351
商品及び製品	6,624,944	5,982,538
仕掛品	41,292	46,206
原材料及び貯蔵品	1,754,394	1,714,667
前払費用	209,041	167,247
繰延税金資産	306,629	192,655
その他	1,025,620	970,103
貸倒引当金	△10,901	△13,370
流動資産合計	28,265,377	29,156,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,874,346	7,569,930
機械装置及び運搬具（純額）	3,363,546	2,994,107
工具、器具及び備品（純額）	475,240	432,837
土地	5,018,626	5,021,533
リース資産（純額）	1,812,508	1,575,151
建設仮勘定	451,078	874,506
有形固定資産合計	18,995,346	18,468,067
無形固定資産		
その他	505,086	463,042
無形固定資産合計	505,086	463,042
投資その他の資産		
投資有価証券	2,637,990	2,776,881
長期貸付金	27,819	25,432
長期前払費用	305,468	251,089
繰延税金資産	256,246	229,127
その他	373,794	356,152
貸倒引当金	△10,000	△12,430
投資その他の資産合計	3,591,318	3,626,252
固定資産合計	23,091,751	22,557,362
資産合計	51,357,128	51,713,902

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,233,559	10,611,649
短期借入金	9,701,284	9,439,200
リース債務	428,078	1,131,862
未払法人税等	299,982	135,812
賞与引当金	438,808	225,653
環境対策引当金	4,170	1,920
未払事業所税	29,683	22,507
未払費用	220,053	227,133
その他	2,262,288	2,204,145
流動負債合計	24,617,909	23,999,885
固定負債		
長期借入金	5,999,000	7,576,400
リース債務	1,877,519	920,286
繰延税金負債	101,650	96,187
退職給付引当金	1,434,064	1,402,732
環境対策引当金	1,920	—
資産除去債務	70,495	70,844
その他	305,151	297,276
固定負債合計	9,789,801	10,363,727
負債合計	34,407,711	34,363,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,141,707	7,141,707
資本剰余金	5,470,211	5,470,211
利益剰余金	4,478,812	4,780,945
自己株式	△197,193	△197,193
株主資本合計	16,893,537	17,195,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△479,356	△442,993
繰延ヘッジ損益	194	184
為替換算調整勘定	△293,793	△275,550
その他の包括利益累計額合計	△772,955	△718,359
新株予約権	13,842	16,611
少数株主持分	814,991	856,366
純資産合計	16,949,416	17,350,288
負債純資産合計	51,357,128	51,713,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	43,390,740	39,730,207
売上原価	35,095,075	31,702,544
売上総利益	8,295,665	8,027,663
販売費及び一般管理費	6,624,992	6,500,232
営業利益	1,670,672	1,527,430
営業外収益		
受取利息	1,744	2,118
受取配当金	22,743	23,166
持分法による投資利益	51,541	48,118
その他	89,341	67,623
営業外収益合計	165,371	141,026
営業外費用		
支払利息	224,579	212,299
その他	234,495	152,430
営業外費用合計	459,075	364,729
経常利益	1,376,968	1,303,728
特別利益		
負ののれん発生益	42,903	—
固定資産売却益	38,142	—
特別利益合計	81,046	—
特別損失		
減損損失	—	133,922
固定資産処分損	36,772	38,055
投資有価証券評価損	1,142,396	—
段階取得に係る差損	94,704	—
特別損失合計	1,273,874	171,977
税金等調整前四半期純利益	184,140	1,131,750
法人税、住民税及び事業税	170,112	326,037
法人税等調整額	△35,840	135,920
法人税等合計	134,271	461,957
少数株主損益調整前四半期純利益	49,869	669,792
少数株主利益	49,661	61,934
四半期純利益	208	607,858

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49,869	669,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	863,976	36,991
繰延ヘッジ損益	48	△10
為替換算調整勘定	△94,395	31,478
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,606	572
その他の包括利益合計	759,021	69,031
四半期包括利益	808,891	738,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	799,308	662,453
少数株主に係る四半期包括利益	9,582	76,370

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

（単位：千円）

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	14,296,700	5,450,896	6,494,269	7,796,972	9,351,902	43,390,740
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,296,700	5,450,896	6,494,269	7,796,972	9,351,902	43,390,740
セグメント利益（営業利益）	509,739	212,698	252,822	488,596	206,816	1,670,672

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

（単位：千円）

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	14,914,489	5,230,651	6,287,648	7,495,387	5,802,030	39,730,207
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,914,489	5,230,651	6,287,648	7,495,387	5,802,030	39,730,207
セグメント利益（営業利益）	801,518	254,185	158,747	244,533	68,446	1,527,430

（注）報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

「アメニティ材料」セグメントにおいて、セルロース系高分子製品専用製造設備のうち、老朽化が激しく将来稼働する見込みがない一部の設備について廃棄処分することを決定いたしました。これに伴い、廃棄処分が決定した設備については将来のキャッシュ・イン・フローが見込めないため、減損認識時点における帳簿価額の全額を特別損失として減損損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては133,922千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。